

## 公益社団法人 埼玉県理学療法士会 令和5年度定時総会議事録

1. 開催日時 令和4年6月18日(日) 13時～15時
2. 開催場所：ウエスタ川越 多目的ホールB,C,D(埼玉県川越市新宿町1-17-17)  
※インターネット中継あり
3. 理事・監事の数及び出席理事監事の数
  - (1) 理事数 18名、監事 2名
  - (2) 出席理事数 16名  
出席監事数 2名
4. 司会 水田宗達(副会長)
5. 定足数報告(会員数及び出席会員数)
  - (1) 会員総数：5,270名(令和5年6月1日現在)
  - (2) 出席会員数：160名(議決権行使数：3,373名)
6. 開会の辞 田口孝行(副会長)
7. 会長挨拶 南本浩之(動画)
8. 特別講演  
これからの理学療法士の姿  
講師：参議院議員 田中昌史 先生
9. 議決事項
  - (1) 第1号議案
    - 1) 令和4年度事業報告並びに令和4年度貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件
    - 2) 令和4年度監査報告
  - (2) 第2号議案  
令和5年度事業計画並びに予算案の承認を求める件
  - (3) 第3号議案  
公益社団法人 埼玉県理学療法士会 役員選任の件
10. 議長団選出の経過
  - (1) 定款に定めた定足数の出席があったことを司会者 水田宗達氏が報告した。議長・副議長の選出について一同に諮ったところ、会場より執行部一任の提案がなされ、議長・副議長が選任された。  
議長：菅野岳氏(さいたま記念病院)  
副議長：金子佳弘氏(済生会川口総合病院)
  - (2) 議長により書記が選任された。  
書記：岩崎宏則氏(介護老人保健施設きんもくせい)  
後藤和樹氏(介護老人保健施設きんもくせい)
11. 議事の詳細
  - (1) 第1号議案
    - 1) 令和4年度事業報告並びに令和4年度貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件
      - ①渡邊副会長より、令和4年度事業執行の総括を報告  
今年度は、定款にある「理学療法士の人格、倫理及び学術技能を研鑽し、理学療法の普及向上を図り、以って埼玉県民の医療・保健・福祉の増進に寄与することを目的とする」を昨年度同

様にコロナ禍のためWebでの活動を積極的に行う一方、少しずつ対面での啓発活動や研修などの取組みを再開した。県民に対する啓発事業は、事業局やブロックの取組みにて小児から高齢者の皆様方や医療介護事業所等の専門職の方々にWeb等で情報教育コンテンツを発信するとともに、地域に出向き県民の皆様方に啓発活動を行った。また広報局において、広報誌や動画配信を使用し啓発活動に取り組みるとともに、県民の皆様には埼玉県のリハサービスを分かりやすく情報を届けるためリハビリテーションマップの作製更新に力を注いだ。

教育・研修・研究推進活動における理学療法の質向上や地域包括ケアの活躍促進として、会員の皆様には有益な情報を提供できるようWebによる研修会とともに、対面研修会を併用し開催した。第31回埼玉県理学療法学会は、対面開催とさせていただき、参加者数538名と盛会に終わることが出来た。理学療法の専門性を強化する委員会としてウィメンズヘルス推進委員会の5年度立ち上げにむけ準備を進めた。また、ブロック活動においては、会員相互の交流を強化する活動を推進した。

## ②各理事より各局、部、ブロックの令和4年度事業について報告。

事務局：総務部は内部監査に関する事、埼玉県リハ三団体・関東甲信越ブロック協議会に関する事について実施。庶務部は会員管理・代表者会議や役員連絡会議の運営を実施。総会運営部は令和4年度総会運営部会議とその総会の準備・運営を実施。管財資料部は事務所内の資料整理・備品管理などを実施。厚生部は新人歓迎交流会を開催。会員懇親会・託児事業は中止。労務管理部は事務員に給与・賞与。納税に関する労務管理を実施。

財務局：出納部は各部局への事業費・運営費の管理などを実施。会費管理部は一般会員の納入状況の把握など例年通り実施。会費未納による強制退会者数28名。財務渉外部は賛助会員に関する業務や税務に関する業務を実施。

事業局：一般県民向けの公益事業を主に担当。一部オンラインで実施。他団体の共催事業に関しては一部開催中止となったが概ね計画通りに事業実施。中止した事業は高齢者福祉部の「彩の国老健ひろば」、小児福祉部の「発達障害者研修会」、「埼玉県障害児通園施設職員実践交流セミナー」。

学術局：理学療法編集部では雑誌の編集を実施。研究推進部では研究補助金事業で補助金の増額を検討、今年度から若手会員の研究活動支援の事業計画と予算案の制定を実施。

教育局：認定・専門研修部より研修会を4回開催。認定・専門理学療法士に関する広報活動は7施設に施設毎説明会を実施。前期研修部より研修会を1回開催。後期研修部より研修会を4回開催。登録・認定・専門理学療法士管理部より新生涯学習プログラム履修状況の追跡調査と取得者名簿一覧表作成。臨床実習教育部より世話人研修会、養成校教員情報交換会、臨床教育研修会を開催。指定管理者研修部より協会指定管理者研修会（初級）を2回、研修会を2回、管理者説明会を1回開催。

広報局：広報誌編集部は広報誌・リーフレットの作成や発行を実施。インターネット管理部は埼玉県理学療法士会WEBサイトの作成・掲載・管理を実施。理学療法週間推進部はラジオ広告・理学療法週間啓発動画の作成を実施。

職能局：業務推進部では他団体との連携強化として埼玉ダイハツ自動車株式会社との教室開催に向けた情報提供と連絡交換は適宜実施。地域共生社会における理学療法士の役割を強化する体制の構築促進として、理学療法連盟と協力。医療保険部では、仕組みの理解・サービス内容の充実・連携を深めるとした3回の研修会を実施。介護保険部でも、仕組みの理解・サービス内容の充実・繋がりを促進とした3回の研修会を実施。地域包括ケア推進部では、地域包括ケア推進リーダー・介護予防推進リーダーの人材育成、また地域包括ケアに関わる職種でのブラッシュアップ研修も開催。

東部ブロック：研修会、症例検討会、公開講座、啓発活動を開催。啓発活動では久しぶりに広活動として現地開催が出来た。

西部ブロック：研修会、症例検討会、公開講座を開催。公開講座では理学療法士の啓発としてチラシを配る活動を実施。

南部ブロック：研修会、交流会、症例検討会、公開講座を実施。公開講座では youtube 配信を実施。

北部ブロック：リモート中心にエリア研修会、ブロック研修会、交流会議、市町村会議、公開講座、症例検討会を実施。

### ③担当理事より各委員会の令和4年度事業について報告。

ブロック連絡委員会：会員が全体にサービスを受けられるよう、県民の方々に啓発活動を行うようにブロック理事と検討と情報共有を実施。今年度は会員同士の交流強化を目的に情報共有・検討を実施。

国際スポーツ競技対策委員会：研修会を3回実施。スポーツ理学療法技能検定を実施。ボート競技会場内における医事部理学療法サービス提供・パラアスリートへのコンディショニング指導の見学会実施。第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会：本学会における準備・会議・運営を実施。

#### 組織運営委員会

財政基盤検討委員会：令和5年度予算案を検討。

表彰委員会：令和4年度表彰にかかる推薦事業をまとめ受賞者を推薦、決定。

組織検討委員会：理事枠の増員・組織のあり方について執り行い、ウィメンズヘルス推進委員会を設置。

運営基盤検討委員会：来年度における重点項目を会員意見集約してまとめ、重点項目に基づいた事業提案書を作成。

選挙管理委員会：役員候補者選挙を開催。

創立50周年記念式典準備委員会：創立50周年記念式典と記念誌発行の準備を実施。

#### 専門性委員会

学会評議員会：年4回の学会評議員会を開催。

第31回埼玉理学療法学会準備委員会：令和5年1月22日（日）対面開催。発表68演題。総勢538名参加で盛況に開催された。

各専門分野の委員会：がんリハビリテーション推進委員会・糖尿病対策委員会・装具療法地域連携対策委員会・学校保健・特別支援教育推進委員会は各分野の委員会・研修会・啓発活動・調査等を実施。また昨年度より神経難病リハビリテーション推進委員会が創設。

#### 職能委員会

新分野開拓委員会：ウィメンズヘルス推進委員会の立ち上げに関する検討を実施。令和5年度より開設、事業実施予定。

訪問リハビリテーション振興委員会：4回研修会実施。

災害対策委員会：4回の研修会実施。災害対策マニュアル・フローチャートの整備実施。

職業倫理委員会：協会との連携を行いながら2回の研修会を実施。

10年後の理学療法を考える委員会：理学療法に関する政策検討・政策を推進するための政治活動、及び理学療法における課題収集・調査等を行った。

新型コロナウイルス感染症における在り方検討委員会：2回の研修会を実施。

#### 《令和4年度決算》

総会資料に基づき、財務局長より令和4年度の決算として収支および支出の報告がされた。貸借対照表について正味財産合計 22,136,655 円との報告があった。正味財産増減計算書から経営収益、経常費用について説明があった。財務諸表に対する注記では特定資産の積立金の報告があった。

#### 2) 令和4年度監査報告

監査結果について、事業内容は適正であり各事業は円滑に実施され、理事の職務執行に関して不正行為や規約に違反する重大な事実はないことを認める。また新型コロナウイルス感染症対策のため、対面を避けWEBを活用するなど、適切に行われたものと認める。

決算に関して、収益計算書・貸借対照表は帳票等の記載金額と一致し、公益社団法人埼玉県理学療法士会の収支および財産の状況を正しく示しているものと認めると報告あり。

収支は、事業の予算額と決算額の差異が大きいため、前年度の決算額に応じて当該年度の予算を立てるなどの対策を講じる事を希望する。

#### 《第1号議案についての質疑応答》

質問なし。

#### 第1号議案

- 1) 令和4年度事業報告並びに令和3年度貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件
- 2) 令和4年度監査報告に関して挙手にて承認の是非を諮り、議決権行使書を含めた3,385名の賛成が得られた。定款第19条1項に基づき総会員数の過半数(5,270名中3,385名)の賛成を得たため、第1号議案は可決承認された。

#### (2) 第2号議案

令和5年度事業計画並びに予算案の承認を求める件

##### ① 原田副会長より総括が説明なされた。

生涯学習や理学療法研究の推進等による理学療法士の質の向上。理学療法士の専門的な技能及び働き方の発展。地域共生社会における理学療法士の役割強化。ポストコロナに向けた県士会活動の推進。理学療法士関連団体との関係性強化等による理学療法士の専門性の向上や職域の維持や拡大。会員相互のつながりや会員への情報の強化。組織術の向上による組織運営の強化。これらを目的として事業計画を立てている。

##### ②各理事より各局、部、ブロックの令和5年度事業計画について説明がなされた。

事務局：総務部は外部団体に関する業務を行って頂く。庶務部は会員の入会、退会の管理、会の内部に関する業務を行って頂く。総会運営部は総会開催および準備。管財資料部は事務室の運営・管理 士会の備品管理。厚生部は前期研修部と合同で新人歓迎交流会開催予定(会員だけでなく非会員も参加)、団体保険管理。労務管理部は事務員の給与・賞与・社会保険料に関する業務を行って頂く。

財務局：出納部、会計管理部、財務渉外部ともに例年通りの事業計画。

事業局：一般県民向けの公益事業に今年も参加。今年度の計画は昨年同様の内容で基本オンライ

ン。スポーツリハビリテーション推進部、健康増進部は対面研修を実施していくが対面研修は感染対策を強化して実施。

学術局：理学療法編集部では雑誌「理学療法」の編集。研究推進部では研究補助金事業の運営。今年度より研究ゼミ事業を実施。

教育局：認定・専門研修部は5回研修会予定。令和6年度理学療法士講習会申請の取りまとめ。前期研修部はオンライン交流会の開催。後期研修部は研修会を半日2コマ年4回、夕方1コマ年4回を計画。登録・認定・織毛理学療法士管理部は生涯学習プログラムの追跡調査引き続き臨床実習教育部は臨床教育研修会実施。指定管理者研修部は指定管理者研修会年2回、管理者ネットワーク研修会年2回、管理者向け研修会年1回、管理者交流会年1回

広報局：広報誌編集では昨年同様広報誌の発行年2回予定。直接現地に赴き取材をしていく。インターネット管理部はホームページのレイアウトと内容の変更。理学療法週間推進部はラジオやWeb媒体での広報活動

職能局：業務推進部、医療保険部、介護保険部、地域包括ケア推進部ともに研修は昨年同様だが内容を現状に合わせてブラッシュアップ予定

東部ブロック：全体会議、全体交流会議、若手交流会議に加え3つのエリアで研修会、交流会、啓発活動を行っていききたい。昨年までWEB開催であったが本年度は現地開催をしていききたい。

西部ブロック：例年同様公開講座、4つのエリアでの交流会。各エリアで研修会、症例検討会、交流会を実施し横のつながりを図る目的で実施。状況に合わせてオンラインから対面に変更していく。

南部ブロック：研修会14回、交流会9回、公開講座を実施予定。特に若い会員が政治・政策に関心を持てるように取り組む。ラインアカウントによって顔の見える関係づくりに取り組む。

北部ブロック：研修会について内容によっては対面開催の可能性を探っていく。エリアによっては一般市民を対象の啓発活動も行っていく。

③ 担当理事より各委員会の令和5年度事業計画について説明がなされた。

ブロック連絡委員会：各ブロック理事とエリア長と情報共有を引き続き行っていく。会員相互の交流の研修会・交流会・交流会議を実施予定。政策についての研修会開催や理学療法啓蒙活動も強化予定。

国際スポーツ競技対策委員会：スポーツ理学療法技能検定2回 スポーツ理学療法技能検定認定者のためのブラッシュアップセミナー1回、理学療法技術研修会5回、スポーツ競技大会における支援活動として第101回全日本選手権大会ボート競技医事部理学療法サービス活動を計画。

第42回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会：10月14・15日対面開催に向けてホームページ立ち上げ220演題集まっている。

#### 組織運営委員会

財政基盤検討委員会：予算項目の編成・改変、令和6年度予算案の作成

表彰委員会：各種表彰推薦に関わる事業に取り組む。

組織検討員会：中長期計画・重点事項に基づいて組織検討および組織変更の必要性の検討。

運営基盤検討委員会：来年度の重点事項や中長期計画を作成する為に課題整理

選挙管理委員会：役員改選に伴う役員選挙・日本理学療法士協会選挙管理運営の活動

創立50周年記念式典準備委員会：記念式典の準備、記念誌の発行準備を継続。

## 専門性委員会

埼玉県理学療法学会評議員会：第32回埼玉県理学療法学会以降の準備のサポートを行う。  
第32回埼玉県理学療法学会準備委員会：来年度の令和7年1月19日開催に向けて準備を実施。  
がんリハビリテーション推進委員会、糖尿病対策委員会、装具療法地域連携対策委員会、学校保健・特別支援教育推進委員会、神経難病リハビリテーション推進委員会につきましては会員に向けての研修会と多職種に向けての研修・講座の開催と普及啓発に努めていく。

## 職能委員会

新分野開拓委員会：昨年同様、新分野開拓の可能性・必要性について検討会議  
訪問リハビリテーション振興委員会：BASIC、ADVANCE また初学者・立ち上げ者向けのセミナーを計画。SNSを活用した情報発信  
災害対策委員会：研修を中心に、且つ各関係団体と情報共有を図りながらマニュアルの見直しも行っていく。  
職業倫理委員会：協会との連携を図りながら研修も予定。  
十年後の理学療法を考える委員会：理学療法に関する政策検討、課題収集及び調査  
新型コロナウイルス感染症における在り方検討会：研修会と情報収集を実施。

④ 総会資料に基づき、財務局長より令和5年度の予算案について説明がなされた収入の部において、会費収入、事業収入、団体活動補助金、雑収入、50周年記念事業・関東甲信越ブロック学会に対しての予算を加え、当期収入合計67,760,000円であることが説明された。支出においては、理学療法推進事業は昨年度から減額して8,360,000円、理学療法関連の情報提供等に関する事業は増額して9,650,000円、理学療法士教育等に関する事業は減額し24,600,000円、理学療法業務推進に関する事業費は50周年式典を行う関係で大きな増額があり17,230,000円、管理費は減額し25,460,000円となる。

### 《第2号議案についての質疑応答》

- 会員より以下2点の質問があった。
  - ①登録・認定・専門理学療法士について、協会・県士会主催のものだけしかポイント付与は受けられないのか、共催や講演でもつけられるようにはならないか。  
田口副会長より、基本的にはそうであると説明。
  - ②66歳以上でのPT500名、1年間で新卒PTは1万人が増えていく現状に対して、職域拡大を出来るような研修会・活動などはどうなのか。  
田口副会長より、専門性委員会も職域拡大に取り組んでいくと回答。岡持副会長より、埼玉県士会から日本理学療法士協会への意見として盛り込んでいくと回答。赤坂理事より、指定管理者研修部内で検討していくと回答。

## 第2号議案

令和5年度事業計画並びに予算案の承認を求める件  
に関して挙手にて承認の是非を諮り、議決権行使書を含めた3,379名の賛成が得られた。定款第19条1項に基づき総会員数の過半数(5,270名中3,379名)の賛成を得たため、第2号議案は可決承認された。

### (3) 第3号議案

公益社団法人 埼玉県理学療法士会 役員選任の件  
山田選挙管理委員長より説明がなされた。  
令和5年2月26日に告知、3月2日から12日受付期間、理事立候補者20名監事2名が報告された。第3号議案について、定款第19条1項に基づき議決権行使書を含めた出席者の賛成の合計が、総会員数の過半数を得た時に、賛成多数と認め承認する。会員からの質問、意見はなく採決に移った。定款19条3項に基づき各候補者ごとに決議を行う事に異議はなく、以下候補者に対して、一人一人承認を行った。

<理事>

- 渡邊 賢治 (一般社団法人 TMG 本部)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 阿久澤 直樹 (川越リハビリテーション病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 杉本 諭 (東京国際大学)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 三宮 将一 (社会医療法人社団 尚篤会 赤心堂病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 田口 孝行 (埼玉県立大学)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 兵頭 甲子太郎 (目白大学)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 赤坂 清和 (埼玉医科大学)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 木村 佳晶 (合同会社アグリハート)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 南本 浩之 (春日部厚生病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 櫻場 勝 (医療法人社団協友会 吉川中央総合病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 馬崎 昇司 (医療法人真正会 霞ヶ関南病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 岡持 利亘 (医療法人真正会 霞ヶ関南病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 高野 大智 (社会医療法人 至仁会 圏央所沢病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 渡邊 雅恵 (さいたま市立病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 水田 宗達 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 原田 慎一 (リハビリテーション天草病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 菊池 裕美 (老人保健施設 一心館)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 横山 浩康 (熊谷総合病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 米澤 隆介 (北里大学メディカルセンター)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 平野 輝利人 (行田中央総合病院)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。

<監事>

- 清宮 清美 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。
- 矢野 秀典 (目白大学)  
議決権行使 3,339 人と会場参加者で賛成多数と認め承認された。

なお、被選任者は、いずれも即時その就任を承諾した。

(3) その他

①質問・意見なし

以上をもって、議長は本会議のすべての議案が終了した旨を告げ、書記・議長・副議長を解任した。

12. 閉会の辞：渡邊雅恵(副会長)

本会議の議事内容を明確にするために本会議事録を作成し、本会議の内容を証明するため議長および代表理事は、以下に署名捺印を行う。

以上

令和5年 6月18日

公益社団法人 埼玉県理学療法士会 令和5年度定時総会

議長

代表理事